

# 福生市教育委員会会議録

平成27年第5回臨時会

- 1 開催年月日 平成27年7月30日(木)
- 2 開始時刻 午前9時30分
- 3 終了時刻 午後0時16分
- 4 場 所 第二棟4階 第1委員会室
- 5 出席委員 教 育 長 川 越 孝 洋  
委 員 平 野 裕 子  
委 員 渡 辺 浩 行  
委 員 徳 永 喜 昭  
委 員 加 藤 孝 子  
委 員 坂 本 和 良
- 6 欠席委員 なし
- 7 出席者氏名 教科用図書選定協議会委員長・調査委員会委員長  
第三中学校長 小 出 宏  
教科用図書調査委員会委員長  
第一中学校長 井 尻 郁 夫  
副 校 長 田 中 雄 二  
第二中学校長 上 田 忠 之  
副 校 長 岩 田 哲 生  
第三中学校副校長 青 木 久 敏  
第一小学校長 松 木 実  
参事兼教育指導課長 石 田 周  
教育総務課長 町 田 和 子  
教育支援課長 野 崎 昌 利  
主 幹 長 谷 川 智 也  
主 幹 林 宣 之  
指 導 主 事 森 保 亮  
指 導 主 事 鈴 木 輝
- 8 傍 聴 人 20名

午前9時30分 開会

教 育 長 定刻でございますので、始めさせていただきますが、教育総務課長のほうから連絡ありますか。

教育総務課長 特にはございません。

教 育 長 承知しました。

それでは、おはようございます。ただいまから、平成27年第5回福生市教育委員会臨時会を開会いたします。本日の会議、日程、議案につきましては、既に御通知申し上げたとおり、進めさせていただきます。

これより本日の会議を開きます。

これより日程に入ります。

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

福生市教育委員会会議規則第19条の規定に基づき、渡辺浩行委員、平野裕子委員の両名を署名委員として指名いたします。

次に、日程第2、議案第56号、福生市立中学校平成28年度使用教科用図書採択についてを議題といたします。

坂 本 委 員 これから教科書採択の議事が始まるわけですが、その前にお願いしたいことがあります、よろしいでしょうか。

教科書採択というのは、教育委員会が行うことになっておりますし、それは別の言い方をすると、私たち教育委員会の権限と責任において行うべきものだというふうに考えています。教科書採択を行うということで、選定委員会に地域の方や保護者の代表の方に入っていただいて、それなりの配慮をしてきたわけでございますが、本日も採択の過程を公開して、市民の方々にはわかりやすい教科書採択を行うところでございます。公正公平な採択をするに当たりまして、私たちの議論の場が静ひつな環境のもとで、またどこからも圧力を受けることなく、自由な雰囲気の中で行うことができるように、ぜひ私たちがこれから行う議論の妨げがないように進行をお願いしたいと思いますので、よろしく申し上げます。

教 育 長 了解いたしました。ただいまの意見につきましては、教育委員会傍聴規則にのっとり、議事の進行の妨げになるような行為があった場合は、速やかに対処することといたします。

それでは、教育総務課長、よろしく願いいたします。

それでは、議案に入らせていただきます。

主幹より内容の説明をお願いします。

主 幹 それでは、議案第56号、福生市立中学校平成28年度使用教科用図書の採

択事務の流れについて大きく2点御報告申し上げます。

第1点目は、全ての教科書を調査対象とする採択資料の作成事務についてでございます。4月の教育委員会でも御報告いたしましたが、福生市立学校平成28年度使用教科用図書採択要領に基づきまして、教科用図書選定協議会、さらに各教科ごとに教科用図書調査委員会を設置いたしました。これらの委員会の目的につきましては、本市の中学生に適した教科書を教育委員の皆様を選定していただくための資料を作成することでございます。この資料作成に当たりましては、次の3つの観点から調査研究を依頼いたしました。

1点目が内容、2点目が構成上の工夫、3点目が特長についてでございます。皆様のお手元には教科用図書選定協議会報告書（様式1）を配付させていただいております。また、本日は教科用図書選定協議会委員長、福生第三中学校小出宏校長並びに各調査委員会の委員長にも御出席いただいております。各調査委員会の委員長からは、後ほど報告書に基づきまして、全ての教科書の特長について御説明をいただきます。

第2点目は、教科書展示会に関する項目でございます。お手元の資料、平成27年度における教科書展示会実施状況等についてをご覧ください。6月7日から7月の4日まで教科書の特別展示会及び法定展示会を今年度も中央図書館を会場として開催をいたしました。今年度の教科書展示会開催中には、合計59名の閲覧者を得ました。この閲覧者の意味でございますが、閲覧者カードに御記入、御提出いただいた方の数を指しております。実際には閲覧者カードに記入されずに、教科書を手にとられた市民等の方も多数いらっしゃるかと考えております。また、今回のアンケートにつきましましては、51通の御意見をいただきました。内訳といたしましては、市内から35通、市外から11通、居住地域の記載がないものとして、5通の御意見をお寄せいただいております。そして、さらに7団体から7件の御要望等をお寄せいただいております。これらのアンケート、要望書等につきましては、事前に各委員の皆様にお届けしておりますが、本日改めて配付させていただいているところでございます。

それでは、先ほどお話ししましたように、教科用図書選定協議会報告書につきましまして、小出委員長並びに各調査委員会の委員長より御説明をさせていただきます。

小出委員長 おはようございます。教科用図書選定協議会委員長の福生第三中学校長の小出宏でございます。教育委員会の諮問を受け、全ての教科書について

調査研究した結果を御報告いたします。なお、本日は各教科の専門性から各調査委員長より御報告させていただきます。

御報告の仕方ですが、各教育委員の皆様のお手元に提出いたしました教科用図書選定協議会報告書（様式1）について、国語調査委員会の委員長から順次、各教科書の使用について要約しながら御説明します。

それでは、まず国語と書写について田中委員長より御説明いたします。お願いします。

田中委員長 国語調査委員長の福生第一中学校副校長の田中雄二でございます。国語は5社でございます。初めに、東京書籍「新編 新しい国語」です。特長は、他教科の学習や実生活で生きる言語活動が豊富に取り上げられている点です。社会、理科、技術・家庭、音楽など他教科と関連する題材を積極的に扱うとともに、レポートや手紙、スピーチ、多様な話し合いなどを行わせることで、実生活の言語活動を支える基礎的な力を言葉の力で育むことに重点が置かれております。

次に、学校図書の「中学校国語」です。特長は、図、絵、イラスト、写真などを活用して、視覚情報と言語情報との関連を深く追求する構成になっている点です。視覚情報が効果的に使用されることによって、題材となっている世界観に生徒が自然と引き込まれる工夫がなされています。また、単元のまとまりごとに基調となる色が決められており、内容が直感的に識別しやすくなっています。

次に、三省堂の「現代の国語」です。特長は、「学び方を学ぶ」ことに力点が置かれ、さまざまな学習方法を提示することによって、多面的な学習ができる点です。例えば、「読み方を学ぼう」では、何をどのように読めば力がつくのかという読みの方略が図解で示されています。また、「学びの道しるべ」では、学習のプロセスが丁寧かつ簡潔に示されるなど、生徒の主体的な学びを重視しています。

次に、教育出版の「伝え合う言葉 中学国語」です。特長は、生徒の自主性を高めるため、課題解決の道筋に沿って学習が進められるように構成が工夫されている点です。各単元の終わりには、「みちしるべ」として学習の手引きが示されています。また、特に古典教材については、生徒の興味・関心を高めるため、図、絵、写真などの視聴覚資料が充実しています。

最後に、光村図書出版の国語です。特長は、学習したことを日常生活や社会生活で活用するための言語活動が適切に設定されている点です。

「話すこと、聞くこと」、「書くこと」、「文法」、「言葉」では、その

学習で身につけた言葉の力を生かすことのできる「実際の場合」が具体的に例示されていたこと。各教材では、それぞれの学習の狙いに即した必然性のある言語活動が取り上げられています。

国語については、以上です。

続いて、書写です。5社ございます。初めに、東京書籍「新編 新しい書写」です。特長は、教科書の横幅を広くしたワイドな紙面を活用し、資料性を高めるとともに、書き込み欄の充実が図られている点です。毛筆学習の際の机のサイズも考慮された造本となっており、カラーバリアフリーの観点から、配色や文字の大きさも適切で見やすく、わかりやすい紙面になっています。

次に、学校図書「中学校書写」です。特長は、発展的な内容を取り扱う「書写の窓」が設定されており、「古典鑑賞」や「臨書」、「篆刻」などがバランスよく配置されている点です。そのことにより、高等学校の芸術科書道学習への見通しを持つことや、伝統的な文字文化を学ぶことができます。生徒の興味関心を引くような文字の歴史や書に関する資料も充実しています。また、冒頭部分では、「学習の進め方」についてわかりやすく解説されており、生徒が主体的に学習していけるように工夫されています。

次に、三省堂の「現代の書写」です。特長は、学習した内容を他教科における学習場面や、日常生活に生かすことのできる教材が多い点です。生徒が日常用いる文字の向上を目指し、他教科のノートなどを想定した課題の設定や自分の日常の文字を書く場面をイメージしながら書けるような工夫も取り入れられています。特に硬筆字形例は、日常的な書式で例示されています。

次に、教育出版の「中学書写」です。特長は、文字によって私たちがさまざまな思いを表現していることが実感できる内容になっている点です。どのように書くと読みやすく、相手に伝わるか、身の周りの多様な表現の文字を習得し、いかに活用するかについて、「文字で心を伝えよう」、「さまざまな書く場面」、「多様な表現による文字」などの単元を通して考えさせる構成になっています。

最後に、光村図書出版の「中学書写」です。特長は、「その学習でどのような力を身につけるか」という教材ごとの目標が明確に示されている点です。その教材で何を学び、どのような力を身につけるかを焦点化して示すことで書写の学習で培った力をどのように日常生活に活用していくかを

生徒自身に考えさせる構成になっています。

書写については以上です。

小出委員長 ありがとうございます。

次に、社会について、井尻委員長より御説明いたします。

井尻委員長 社会調査委員長の福生第一中学校長の井尻郁夫でございます。社会は、平成26年1月に中学校学習指導要領解説社会編が一部改訂され、各分野ともに領土関係について、従来の北方領土に加えて「竹島」、「尖閣諸島」について改めて明記されました。つきましては、「地理的分野」、「歴史的分野」、「公民的分野」の御報告の冒頭に、学習指導要領改訂のポイントについて御説明させていただきます。

まず、地理的分野です。地理的分野は、(1)、「世界のさまざまな地域」と(2)、「日本のさまざまな地域」の2つの大項目で構成されております。それぞれ、まず、世界または日本の地域構成に関する学習、次に、世界各地の人々の生活や日本全体を大観する学習、その後に世界、日本それぞれの諸地域の地域的特色、最後に調べ学習を行う構成となっております。

今回の改訂では、世界、日本それぞれの諸地域の学習がポイントとなっており、特に日本の諸地域の学習に特色があります。それは、日本を7つの地域に区分し、それらの地域の特色ある地域的事象や事柄を他の事象と有機的に関連づけて追求する活動を通して、日本の諸地域の地域的特色を捉えさせるというものです。後ほど説明いたしますが、発行者によって取り扱いが異なります。

では、地理的分野の教科用図書につきまして、発行者ごとに説明いたします。

地理的分野は、4社でございます。初めに、東京書籍の「新編 新しい社会 地理」です。特長は、内容の押さえ方や構成上の工夫、分量のバランスがよく、世界、日本の導入單元における基礎的な知識や技能の内容が充実している点です。また、興味・関心を喚起する導入資料、学習の狙いを示す学習課題の提示、本文と補完する豊富な資料、まとめという流れで生徒にわかりやすく構造化されています。領土関係については、本文やコラムで我が国の領土をめぐる問題や、その地理的な背景を取り上げ、正しく理解し、国際平和のために解決すべき課題であることを意識、工夫しています。

次に、教育出版「中学社会 地理 地域にまなぶ」です。特長は、世界

の諸地域の学習において、アフリカ、ヨーロッパを中心に多くの国を取り上げている点です。また、多くのコラムや特設欄が設定され、学習を深める工夫や、興味・関心を高める写真、地図等の資料も豊富で効果的に配置しております。導入を充実させ、1単位時間の授業がわかるように工夫しています。領土関係については、我が国の領域を大観するための地図をまず提示し、歴史的経緯を踏まえた本文記述とあわせて位置図、拡大図と写真を用いて正しく理解しやすい構成としています。

次に、帝国書院の「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」です。特長は、諸地域の学習に重点が置かれ、日本の諸地域で扱う中核となる事象を取り上げる地方に特色があるという点です。見開き1ページの導入、学習課題の提示、本文と用語解説、作業と確認、言語活動によるまとめという流れで取り組みやすくなっております。また、人々の生活や仕事に関する具体的なエピソードの紹介等、内容のおもしろさも特長です。領土関係については、日本固有の領土であることを明記するとともに、その位置を図や写真を用いて丁寧に説明し、日本の領域内に見られる問題を事実に基づいてわかりやすく説明しています。

最後に、日本文教出版の「中学社会 地理的分野」です。特長は、世界、日本の導入単元に基づき、基礎的な知識や技能が充実しているという点です。学習内容の理解を深めるための最新の地理的なトピックスも取り上げているという点もごさいます。導入資料、学習課題の提示、側注欄に「学習の確認と活用」を設けて、学習のポイントの確実な定着を意図した学習活動や説明、要約、地図の活用などの言語活動等が工夫されています。また、インデックスにより学習内容全体の位置づけを確認できます。領土関係については、大きめの写真を用いてわかりやすく、詳しく解説しています。

地理的分野については、以上です。

続いて、地図です。地図は2社ごさいます。初めに、東京書籍の「新編新しい社会 地図」です。特長は、日本の資料図では、「地形、気候、国土利用」、「人口・交通」が豊富にあり、全体として落ちついた配色と構成になっており、なじみやすい点です。世界や日本の各地域の特色を多角的に捉え、内容を深めるための資料も十分であり、基礎的な知識、概念、技能の定着や、それを活用した思考力、判断力、表現力の育成を促せるようにしてあります。北方領土、竹島、尖閣諸島ともに隣国との間に国境線が明記されており、大小の地図を用いて扱われており、写真とともに丁寧

な解説文が掲載されております。

次に、帝国書院の「中学校社会科地図」です。特長は、基本図、資料図、グラフ、写真及び図等の資料、索引に掲載されている紙面も大変豊富で、全般にわたって地図が見やすく、鮮やかな色彩であります。地域ごとの基本図や、世界及び日本を理解するために集められた資料等の内容もよく充実しており、生徒の興味を引きながら基礎・基本の定着から発展まで授業を進めるための地図として完成度が高く仕上がっています。北方領土、竹島、尖閣諸島ともに隣国との間に国境線が明記され、大小の地図を用いて扱われており、写真とともに端的に日本固有の領土と明記されています。

地図については、以上です。

続いて、歴史的分野です。歴史的分野は、歴史の捉え方、古代までの日本、中世、近世、近代の日本と世界、現代の日本と世界の6つの大項目で構成されております。改訂の要点は、まず、我が国の歴史の大きな流れを理解する学習を一層重視するという点でございます。「古代まで」、「中世」といった各時代の特色を捉え、それをつなげて「大きな流れ」と捉えることが求められています。また、「自分の言葉で表現する」学習を行うこととなりました。さらに、「近現代の学習の一層の重視」、「さまざまな伝統や文化の学習の重視」、「我が国の歴史の背景となる世界の歴史の扱いの充実」なども改訂の要点となっております。

では、歴史的分野の教科用図書につきまして、発行者ごとに説明いたします。

歴史的分野は、8社でございます。初めに、東京書籍の「新編 新しい社会 歴史」です。特長は、單元ごとの目標が明確であり、学習内容を振りかえり、確認できる活動が充実しているという点です。「歴史スキル・アップ」や用語解説があり、基礎・基本を抑えた上で、大判の資料を読み解くことができ、自学自習もできます。思考力、判断力、表現力を伸ばす学習活動が豊富に設けられている点も特長です。領土関係については、領土をめぐる問題の歴史的背景と経過を取り上げるコラムを設け、地図や写真も用いて丁寧に扱うなど、正しい理解と解決に向けた意識を高められるようにしています。

次に、教育出版の「中学社会 歴史 未来をひらく」です。特長は、單元ごとの学習課題が明確で、図版も大きく、学習課題の定着を段階的に確認できるという点です。基礎的、基本的な内容を押さえた上で、「ふりかえる」や「学習のまとめと表現」等の活動を通じて表現力を伸ばすことが

できます。欧米列強のアジア進出から、日本の開国、維新にかけての動きを、第5章「近代の幕開け」として独立させた扱いをするなど、近現代の内容を充実させている点も特長です。領土関係については、歴史的経緯を踏まえ、地図や写真を用いて詳しく記述しております。

次に、清水書院の「中学 歴史 日本の歴史と世界」です。特長は、単元ごとに学習課題が設定され、学習課題に応じた資料も用意されており、学習内容を深めたり、まとめたりする活動に使いやすい点です。また、章扉において、各章で扱う時代を代表する写真に加えて、小学校で学んだ事項に関する写真を配置し、時代の特色を予測、展望できるように配慮しています。東アジア及び欧米を中心に世界の歴史について記述や資料が多く丁寧に扱われており、特に近現代では系統的に世界とのかかわりの中で歴史の理解を深めようとしています。

次に、帝国書院の「社会科 中学生の歴史 日本歩みと世界の動き」です。特長は、単元の冒頭に課題意識を育むヒントとしてその時代の様子をあらわす大きなイラストと学習課題を提示し、終末には学習内容を確認する「確認しよう」や知識を整理する言語活動を促す「説明しよう」を設けるなど、学習活動の充実が図られています。詳細な地図や多様な大判の資料も豊富にあり、地域史や人権、自然環境などの資料も多く、歴史を多様な視点から学ぶことができます。領土関係については、歴史的背景がしっかりと理解できるよう明治初期の国境確定の記述を充実させています。

次に、日本文教出版の「中学社会 歴史的分野」です。特長は、生徒が学習したことを活用しながら、時代の特色等について考え、判断し、自分の言葉で表現することを促す学習活動を各時代に設けるなど、言語活動の充実を図っていることです。また、時代像をイメージできる大判資料や、時代を実感できる史跡、文化財、人物等を取り上げ、興味関心を高めようとしています。領土関係については、国際法上、正当な根拠に基づいて、正式に我が国に編入した経緯について記述したり、特設ページを設けて近代国家の領土の確定について深く掘り下げたりしています。

次に、自由社の「新版 新しい歴史教科書」。特長は、毎時間学習課題とまとめの視点の明示があり、見通しを持って取り組めるよう配慮されたところ。自分の言葉でまとめたり、意見交換したりするなど、主体的な学習ができるようにも配慮されています。我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるために、7世紀の古代律令国家と19世紀後半の明治国家には重点的に時間配分し、歴史上の人物も多く取り上げている

点も特長です。領土をめぐる問題については、見開き 2 ページで取り上げ、歴史的背景や経緯を詳しく正しく理解できるよう配慮されています。

次に、育鵬社の「新編 新しい日本の歴史」です。特長は、單元ごとの学習課題や学習活動の設定により学習を深め、基礎的、基本的な内容を押さえた上で「学習のまとめ」が設定されており、学習の整理に役立つという点です。また、思考力、判断力、表現力を育むために、人物、女性、宗教や海洋国家等をテーマとしたコラムや特設ページの設定により、学習内容に広がりを持たせ、歴史上の人物や現在に伝わる文化遺産、国際関係、文化交流を多く取り上げているところも特長です。領土問題については、本文とコラム、「歴史ビュー」で取り上げられており、歴史的背景や経緯を説明しています。

最後に、学び舎の「ともに学ぶ人間の歴史」です。特長は、A4判の大きなサイズでつくられているため、写真、その他の資料が大きく見やすく配慮されており、特に歴史地図を数多く掲載し、各章の扉ページには世界の状況地図を上を示しています。單元ごとの学習課題の設定や「歴史を体験する」特設ページが設定され、学習内容を考えたり、深めたりすることができ、単元のタイトルや小単元のサブタイトルを工夫し、学習内容をわかりやすくする工夫をしています。近現代の学習を重視し、64のテーマを設けたり、世界の歴史を多く取り上げたりしています。

歴史的分野については、以上です。

続いて、公民的分野です。公民的分野は、「私たちと現代社会」、「私たちと経済」、「私たちと政治」、「私たちと国際社会の諸課題」の4つの大項目で構成されています。改訂の要点は、現代社会の特色の学習や伝統や文化に関する学習の充実、現代社会を捉える見方や考え方の基礎を生かした内容構成、課題の探求を通して社会の形成に参画する態度を養うことの重視などです。特に「政治」、「経済」、「国際関係」に関する諸事象を捉えさせること、「対立と合意」、「効率と公正」などは新たに設けられた見方や考え方を、これらの見方や考え方を深めるとともに、諸事象の理解をより一層深めさせるようにしました。「対立と合意」、「効率と公正」とは、例えば経済活動について学ぶ市場原理では、売買の交渉などにおいて、売り手と買い手が異なる金額や条件を提示して、まとまらない場合もございます。ここではそれを「対立」として捉え、このような「対立」が生じた場合に、互いの利益が得られるよう、何らかの決定を行い「合意」に至る努力がなされているということによって理解させます。で

は、社会保障を充実させるといった場合は、どうでしょうか。これは、市場原理に任せたのでは解決が難しい。国や地方公共団体に任せたほうが社会全体として無駄を省くといった考え方の「効率」的や、「みんなが参加して決めているか」という手続の公正や「不当に不利益をこうむっている人をなくす」といった機会の公正や結果の公正なのです。このような見方、考え方をを用いて経済的事象を捉える学習を行っていくこととさせていただきます。

では、公民的分野の教科用図書につきまして、発行者ごとに説明いたします。

公民的分野は、7社とさせていただきます。初めに、東京書籍の「新編 新しい社会 公民」です。特長は、章の初めに「導入」、章の終わりに「学習のまとめ」のページを設け、「ディスカッション」、「プレゼンテーション」等、多様な言語活動を掲載しており活用できる点とさせていただきます。また、「公民にアクセス」、「公民にチャレンジ」等の資料は内容が豊富で学習内容を深めるのに役立ちます。現代社会の具体的な事実や課題を取り上げている点も特長です。領土関係については、本文、コラム、写真等で丁寧に取り扱い、我が国の領土及び領土をめぐる問題の現状等について正しく理解し、解決に向けて意識を高めることができるよう工夫されています。

次に、教育出版の「中学社会 公民 ともに生きる」です。特長は、資料や写真、コラムが豊富で特設ページが常設しており、興味関心を引き出したり、学習を深めたりするのに役立つページです。章末にある「学習のまとめと表現」では、各章で学んだ内容を振り返って整理したり、活用して考えを深めたりする言語活動を取り入れています。また、法律、制度や仕組みの名称を丁寧に取り扱いえています。領土関係については、隣国諸国とどのような関係を築いて解決を目指すか。日本が国際社会で果たせる役割や、自己とのかかわりについて考察を深められるよう地図や写真とともに解説しています。

次に、清水書院の「中学 公民 日本の社会と世界」です。特長は、自由、権利、責任、義務についての記述が充実しており、経済単元を扱っている割合がやや高くなっていることです。本文の補完、または具体的な展開例として特設ページ「もっと知りたい公民」、「深める公民」を全編各所に配置し、作業学習、調べ学習などに活用できるよう工夫されています。政治編、経済編、国際編、それぞれの扉のページには、学習内容に深く関係する人物に焦点を当て、その人物の活動や著作の一部などを取り上げています。また、領土関係や防災については、簡潔にまとめています。

次に、帝国書院の「社会科 中学生の公民 より良い社会をめざして」です。特長は、1単位時間の学習課題が明記されており、「確認しよう」、「説明しよう」の欄で生徒がその時間に学ぶことをつかみやすい点です。また、実社会の動きを紹介、実社会で活躍する人々の「生の声」、シミュレーション等、身近な事例や現実の社会の動きが学べる工夫がされています。領土関係については、日本固有の領土であることを明記し、領土に関する現状を示しつつ、平和的な解決に向けてどのような方法があるのか考えられるよう構成されています。

次に、日本文教出版の「中学社会 公民的分野」です。特長は、学習課題を明確に示し、側注欄には「学習の確認と活用」を設け、学習のポイントをつかみやすいように工夫されている点です。また、毎時間の終わりに学習課題の確認とともに、身近な現実の問題についての社会的事象の意味、意義を解釈したり、事象間の関連を説明させたりするような問いを示しています。社会参画、社会貢献の手がかりとなる特設ページ等、将来の生活につながる内容を取り上げ、関心や意欲を高め、知識の定着につながるようにしており、領土関係について写真と地図を用いて解説をしています。

次に、自由社「新しい公民教科書」です。特長は、各単元の見出しの下に何を学ぶのかという学習内容を簡潔に明示し、最後にその単元の学習の要点を提示している点です。また、「ミニ知識」や「もっと知りたい」など特設ページがあり、興味を引き出す内容になっております。重要な事項について、400字程度で考えをまとめさせるなどの言語活動を取り入れています。現代社会の単元や愛国心、国防問題、領土教育について詳しく扱っており、憲法第9条の解釈において国民の間である対立する見解を4つに分けて丁寧に提示しています。

最後に、育鵬社の「新編 新しいみんなの公民」です。特長は、「つかむ」、「調べる」、「まとめる」という問題解決型の学習過程の紙面構成にしており、新聞記事を多数掲載し、自分が生きている社会を教材にすることで、社会の諸問題に着目させ、みずから考えようとする態度を育てるよう工夫されている点です。コラム欄が充実しており、資料として学習の補助や自学自習ができるようになっています。領土関係については、政府の見解を要約して紹介し、地理的分野、歴史的分野の学習成果を踏まえ、当時の写真資料や新聞記事を紹介しながら記述しています。また、宗教や伝統文化についても丁寧に取り上げています。

公民的分野については、以上です。

以上で社会科を終了します。

小出委員長 続いて、数学について井尻委員長より御説明いたします。

井尻委員長 数学調査委員長の福生第一中学校長の井尻郁夫でございます。数学は、7社です。

初めに、東京書籍の「新編 新しい数学」です。特長は、数や図形の性質などを見出す活動や、数学的に説明し、伝え合う活動などに取り組むことで、生徒が数学的活動の楽しさを実感しながら、学習を進めていけるようにしているところです。また、小学校算数の内容や、中学校における前年の学年で学習した内容を確認し、繰り返し学習できるようになっており、スパイラルな学習を行うことで、基礎・基本の定着を図っていく構成になっています。

次に、大日本図書の「新版 数学の世界」です。特長は、全体的に色使いが配慮されていたり、振り仮名の書体にも工夫がなされたりしており、読みやすくなっている点です。また、発展的な学習内容が盛り込まれ、一人一人の興味関心に応じて活用できるようになっております。導入課題、学習の狙いが明示されており、授業の見通しを持つことができるような構成になっております。

次に、学校図書の「中学校数学」です。特長は、課題に対して見通しを持ち、さまざまなつながりを意識して学習を進めることを通して力をつけるような構成になっている点です。また、巻末の「共同学習のページ」では、今後の学習へつながるための投げかけと、その学習を行うページ数を明示することで、能動的に学習するアクティブ・ラーニングが行えるようになっております。

次に、教育出版の「中学数学」です。特長は、小学校からの学習の積み重ねと系統性を考慮して、各章を学習する前や各ページの最後にある「もどって確認」などは、小学校での既習内容を取り上げていて、小・中間のギャップの軽減を図っているという点です。また、言語活動として扱える問題にラベルをつけ、自分の考えを説明したりする活動を促すようになっている点も特長です。

次に、新興出版社啓林館の「未来へひろがる数学」です。特長は、習熟度別少人数指導など多様化する学習形態への対応や、新しい学習内容にスムーズに発展していけるよう既習内容を振り返らせるために、「MathNaviブック」が別冊となっていることです。また、「ひろがる数学」、「数学を通して考えよう」という単元では、日常生活や社会、他教科と数学との

かかわりを考えることができ、キャリア教育の視点も盛り込まれています。

次に、数研出版の「中学校数学」です。特長は、「章のとびら」という単元では、身の回りの話題を扱い、数学への興味を持てるように配慮されております。その「章のとびら」に加えて、「説明文」や「問」でも数学的活動を通して学習ができるようになっており、生徒みずからが考え、主体的に学べるようになっております。また、ノートをとる際の注意点を明記したページがあることも特長です。

最後に、日本文教出版の「中学数学」です。特長は、原則として1節を1単位時間の学習内容として構成してあるところです。このことにより、生徒にとって授業の流れや学習内容を把握しやすくしております。また、巻頭の「数学の学習で大切なこと」では、数学的活動や言語活動に取り組むために大切なことを生徒にわかりやすく伝える工夫がされております。

数学については、以上でございます。

小出委員長  
青木委員長

次に、理科について、青木委員長より御説明いたします。

理科調査委員長の福生第三中学校副校長の青木久敏でございます。理科は、5社でございます。

初めに、東京書籍の「新編 新しい科学」です。特長は、生徒が主体的に探求的な活動に取り組めるように、「予想しよう」、「調べ方を考えよう」、「考察しよう」という項目を構成し、探求の活動に直結した言語活動が行えるようになっております。また、公式や重要な事項は、「ここがポイント」という欄を設け、強調されており、基礎的、基本的な知識技能を習得するための工夫がされています。ふろくのペーパークラフトも理解しづらい内容を立体的に理解するのに役立ちます。

次に、大日本図書「新版 理科の世界」です。特長は、各単元の最後の終章において、その単元で学んだことを生かし、主体的に課題を解決していく活動を掲載しており、習得、活用、探求と言われる資質、能力の育成を図っているところです。また、実験の注意点が黄色の枠の中に入っており、一目でわかりやすく、事故防止への配慮がされております。

次に、学校図書の「中学校科学」です。特長は、各単元末に単元の学習内容と関連した職業の紹介を、「科学を仕事に生かす」として見開き2ページで書いてございます。学習内容と職業や日常生活者の関連がわかり、科学を学ぶ大切さを実感し、学習意欲を高められるように記されております。

次に、教育出版の「自然の探求 中学校理科」です。特長は、単元末に

において、「要点と重要用語の整理」において、要点や重要用語を目立つ色の文字で示されており、みずから基礎基本の定着がなされているかの確認ができる上、自学での復習にも役立つところです。また、巻末の資料も充実しており、単元の学習の場を広げられるような構成になっています。

最後に、新興出版社啓林館の「未来へひろがるサイエンス」です。特長は、全体にわたって、適所に思考の広がりや深まりとともに提案力の基礎を培う仕掛けがあることです。また、単元や実験のまとめとして復習したり、家庭学習の充実が図られるよう、別冊の「マイノート」があることも特長です。この「マイノート」を活用することで、生徒の思考力や表現力の向上が期待できます。

理科については、以上です。

小出委員長 次に、音楽です。

音楽調査委員長の福生第三中学校長の小出宏でございます。音楽は、2社です。

初めに、教育出版の「中学音楽 音楽のおくりもの」です。特長は、全体的に基礎、基本を押さえ、その知識、技能を活用していく流れになっており、段階を踏んで学習が進められるように構成されております。また、感じことや考えたことを書き込める欄が設けてあること、学びやすい工夫されているところが特長です。

次に、教育芸術社の「中学生の音楽」です。特長は、指揮法や発声法などの実技に関するイラストが充実されていて、生徒が理解しやすい構成になっています。また、「音楽学習MAP」などの工夫により、学習内容全体を把握でき、同時に題材や分野間の関連性を生徒が理解し、学習の見通しを立てやすいように配慮されています。

音楽、一般については以上です。

続いて、音楽、器楽合奏です。音楽、器楽合奏は、2社でございます。初めに、教育出版の「中学器楽 音楽のおくりもの」です。特長は、リコーダー、ギターの運指が折り込みページを使った資料で関連づけて提示されており、学びやすい構成になっています。また、ポピュラー音楽や鑑賞や歌唱で扱われた楽曲を使用し、豊かな表現活動を行わせる工夫があります。そして、ユニバーサルデザインを追求しており、音符や楽譜の表示が大きく、教材や資料が見やすくなっています。

次に、教育芸術社の「中学生の器楽」です。特長は、奏法解説や楽曲構成において練習曲が多く掲載されており、基礎基本を身につける工夫が見

なれます。また、楽曲理解の学習で、具体的活動の手順が丁寧に示されていたり、和楽器学習で伝統的楽譜と五線譜を並列に示してあったりと、学びやすい工夫が施されてあるところが特長です。

音楽器楽活動については、以上です。

次に、美術について、上田委員長より御説明いたします。

上田委員長 美術調査委員長の福生第二中学校長の上田忠之でございます。美術は、3社ございます。

初めに、開隆堂出版の「美術」です。特長は、生徒にとってなじみのある作家や有名な作品が取り上げられており、興味関心を持ちやすい内容になっております。また、日本の伝統文化を感じられる題材が掲載されていて、日本の美、和の造形感覚を身近に感じられる工夫がなされています。そのほかにも、画く活動、つくる活動、鑑賞の活動が明確に分けられていて、生徒にとって取り組みやすい構成になっています。

次に、光村図書出版の「美術」です。特長は、身近な材料や用具を使ったり、身の回りの素材を使ったりするなど、発想や構想の能力を育む手助けをするようになっております。また、作家の作品だけでなく、制作過程も掲載されていて、生徒が発想を広げるきっかけになるような工夫もされているところが特長です。そのほか絵の具の説明や、用具の基本的な使い方や、写真や絵を織りませ、わかりやすく示されたものです。

最後に、日本文教出版の「美術 出会いと広がり 学びの深まり 美の探求」です。特長は、一つのテーマに対して複数の作品が掲載されて、発想を広げやすい内容になっています。また、発表や展示、校内を飾るなど、他者とのかかわり合いを通してつくった作品が活かされる様子が紹介されており、制作への見通しを持ち、意欲的に学習を進められるよう、工夫が施されています。

美術については、以上です。

小出委員長 続いて、保健体育について、上田委員長より御説明いたします。

上田委員長 保健体育調査委員長の福生第二中学校長の上田忠之でございます。保健体育は、4社ございます。

まず初めに、東京書籍の「新編 新しい保健体育」です。特長は、「やってみよう」、「本文」、「考えてみよう」という今日の学習の流れが見える紙面構成になっており、基礎的、基本的知識が習得できるとともに、思考力、判断力、表現力の育成にもつながります。また、教科書のサイズが大きく、内容の構成が1年、保健編、体育編、2年、保健編、体育編と、

学年ごとに構成されているのも特長です。

次に、大日本図書の「新版 中学校保健体育」です。特長は、「今日の学習課題」を設置したことで、学習課題が明確になっており、各章の「学習のまとめ」において「重要な言葉」として学習の要点をまとめることで、章全体を振りかえることができます。また、食育を推進する特設ページを設けています。

次に、大修館書店の「保健体育」です。特長は、文章を中学生が読んで理解し、納得できるよう、論理性や具体性を重視している点です。各項目の冒頭に、学習の動機づけとなる導入発問「クエスチョン」や巻末課題の「トライ」が設定され、その中に読み取ってほしい大事なポイントを吹き出しで示しています。

次に、学研教育みらいの「新・中学保健体育」です。特長は、見開き2ページが1時間の授業構成になっており、冒頭に学習の目標やキーワードが明記されているため、生徒が学習の見通しを立てやすく、学習意欲を高めることができます。また、「探求しようよ」という項目で、課題の例や学習の仕方を示すことにより、課題解決的な学習も展開できます。

保健体育については、以上です。

小出委員長 次に、技術・家庭について、岩田委員長より御説明申し上げます。

岩田委員長 技術・家庭調査委員長の福生第二中学校副校長の岩田哲生でございます。まず、技術分野です。技術分野は3社でございます。

初めに、東京書籍の「新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology」です。特長は、防災を心がける作品例や災害の対応など、現代社会の課題に関心を持たせる内容になっている点です。技術と環境を結びつけて、持続可能な社会の構築を目指すことや、環境モラルに関して取り上げるなど生活に役立つ技術を意識した工夫がなされております。

次に、教育図書の「新技術・家庭 技術分野」です。特長は、序章、巻末資料が充実している点です。序章では、小学校までの学習やふだん目にするもののある製品から「技術」分野の学習について導入をしています。また、巻末資料は、各領域について記載されており、本文で詳しく触れられていないものの中で、日常的にも参考になるものを取り上げられております。

最後に、開隆堂出版の「技術・家庭（技術分野）」です。特長は、各学習項目において話し合いの場面をつくり、言語能力の育成の工夫がされている点です。学習の振り返り、評価、活用として成果の発表や自己評価、

相互評価を行うなどの言語活動を充実させ、言語能力を養えるように配慮されています。また、まとめたことを生活の場で活用できるための具体例も示されています。

技術分野については、以上です。

続きまして、家庭分野です。家庭分野は、3社ございます。初めに、東京書籍の「新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」です。特長は、サイズが大判で余白があるなど、デザインにゆとりがある点です。そのゆとりを生かして、一日に必要な食品の概量を「手ばかり」、「目ばかり」の手法で掲載したり、幼児の靴や箸も実物大の写真で取り上げたりするなど、視覚によって直感的に理解できるように工夫されています。

次に、教育図書の「新技術・家庭 家庭分野」です。特長は、調理実習の調理例が主食、主菜、副菜、汁物、デザート、間食に分けられて、単品ごとに掲載されている点です。調理手順も縦に流れるレイアウトで、手順を写真で示すなど、調理しやすい工夫がされています。また、調理のポイントが書き添えられているなどの配慮もされています。

最後に、開隆堂出版の「技術・家庭（家庭分野）」です。特長は、各章の終わりに「学習のまとめ」があり、冒頭の「学習の目標」に照らして学習の振り返りができる点です。「学習のまとめ」では、反省や自己評価、さらには学んだことの生活への活用ができるように構成されています。そのための具体例やヒントなども示されています。

技術・家庭（家庭分野）は、以上です。

小出委員長 最後に英語です。英語調査委員長の福生第三中学校長の小出宏でございます。

英語は、6社ございます。初めに、東京書籍の「NEW HORIZON English Course」です。特長は、表現活動などにおいて自分の考えを段階的にまとめられるように工夫されている点です。学んだそれぞれの技能を統合して、実際に使うことで発信につなげられるように構成されています。各単元が習得、活用を発信につなげる規則的な配列になっていることで、生徒が学びやすくなっています。

次に、開隆堂出版の「SUNSHINE ENGLISH COURSE」です。特長は、小学校外国語活動との円滑な接続及び高等学校英語科への発展が配慮されている点です。導入期では、小学校外国語活動の復習内容が豊富であり、中学校での英語学習との円滑な接続が工夫されています。また、卒業期には生

徒が英語を使う設定が多くなるなど、高等学校の英語の授業への接続が配慮されています。

次に、学校図書の「TOTAL ENGLISH」です。特長は、一般動詞からの導入を行うなど、言語材料の配列に工夫が見られる点です。小学校外国語活動でなれ親しんできた表現から導入することで、小・中連携がスムーズになされ、生徒の言語学習への動機づけや興味関心を高める工夫をしています。また、各レッスンをChapterにまとめ、基礎的、基本的な知識、技能を習得するための言語活動を設けております。

次に、三省堂の「NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition」です。特長は、世界平和や社会貢献の題材を通して、みずからの考えや自国の文化を発信する力を身につけさせる内容になっている点です。「ことば」、「伝統文化」、「人間」、「社会」、「自然」、「防災」など生徒の知的欲求に応える題材を幅広く取り上げ、生徒の思考力、判断力、表現力、他とかかわる力を育成する構成になっています。

次に、教育出版の「ONE WORLD English Course」です。特長は、文構造等が定着するように、文法項目をまとめた別冊、「ONE WORLD English Course Essentials」を附属している点です。このことにより、単元ごとの目標とする基本文が明確になっています。さらに、基本文を活用したアクティビティや発展的な文に取り組む活動を通して定着を図る工夫がされています。

最後に、光村図書出版の「COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE」です。特長は、日常生活で起こる出来事を多く題材にして取り上げ、生徒にとって親しみやすい内容であります。3学年共通の登場人物が悩んだり、けんかをしたり、反省して仲直りをしたり、別れに際して自分を振り返ったりするなど、生徒が実際に経験する人間同士のつながりについて英語を通して考えさせる内容となっています。

英語については、以上です。

長時間になりましたが、以上で教科用図書選定協議会が作成した報告書（様式1）に基づきながら、全社全ての教科書の特長について要約して御報告いたしました。

ありがとうございました。

教 育 長 各調査委員長の報告、お疲れさまでした。ありがとうございました。

調査委員長からの報告は終わりました。これから質疑に入りたいと思います。質問があれば、各調査委員長にお答えいただき、内容をさらに深め

てまいりたいと思います。

教科ごとに進めたいと思います。まず、国語について、いかがでしょうか。

坂本委員 国語は、全ての教科の学習を行うために基本になる場所だと思うのです。ですから、非常に重要な教科だと思うのですけれども、ここでは言語活動というものが全ての教科で行われるための基礎として、国語の時間で学習を重視されていると思うのですけれども、御説明いただいた教科書の中で、その言語活動、が適切に扱われている教科書について教えてください。

田中委員長 国語は、言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力を育てる中心的な教科であることから、全ての教科書において適切に言語活動が設定されております。その上で話すこと、聞くことや書くこと等の言語活動に必要な技術や知識の資料が充実している教科書は、三省堂、東京書籍、光村図書出版で、いずれも100ページを超えております。

以上です。

教育長 よろしいですか。

ほかにもございますか。

加藤委員 読むことの中で、説明的な文章という作品数の多い教科書を教えてくださいいただけますか。

田中委員長 説明的な文章の最も作品数の多い教科書は、光村図書出版で、次いで東京書籍となります。説明的な文章の作品数は、光村図書出版は23、東京書籍は21となっています。

教育長 よろしいでしょうか。

加藤委員 ありがとうございます。

教育長 ほかにございますか。

平野委員 今、福生市では、小・中学校に学校司書を配置して、福生の子どもたちにたくさんの本を読んでもらい、本を好きになってもらうようにサポートしたり、この3月に定めたふっさっ子スタンダード、中学生家庭生活10カ条の中でも読書は1年間100冊を目指そうと示したりして、子どもの読書活動を推進しております。生涯にわたって読書に親しめるかどうかは、学生時代に良書に出会ったかどうかにかかっているとも言われております。そこで、それぞれの教科書の中には読書案内というのが設けられておりますけれども、特に生徒が本を読んでもみたくなるような、またそのような工夫がされている教科書がありましたら、教えてくださいいただけますか。

田中委員長 東京都教育委員会が作成いたしました平成28年度から31年度使用教科書調査研究資料中学校によりますと、読書案内や本の検索方法などの資料が多い教科書は、教育出版が53ページ、次いで光村図書出版が52ページとなっております。特に光村図書出版は、レイアウト、構成ともに非常に見やすい工夫がなされています。

以上です。

平野委員 ありがとうございます。

教育長 よろしいでしょうか。

ほかにございますか。国語については、よろしいですか。

では、続きまして、書写についてでございますが、いかがでございますでしょうか。

坂本委員 書写については、毛筆と硬筆があると伺っているのですけれども、一応確認なのですけれども、国語というのは各学年何時間ずつ授業時数が配分されていて、その中で書写というのはどのぐらいの時間が行われているのか。また、その割合について教えてください。

あと、一番お聞きしたいのは、書写指導で一番重視している、または、配慮しているということについて、何か学習指導要領に書いてあるものでしたら、教えてもらえませんか。

田中委員長 まず、国語の授業時数ですが、第1学年、第2学年ともに年間で140時間行っております。第3学年は105時間行っております。そのうち書写の指導に配当される授業時数と割合ですが、第1学年、第2学年は年間で20時間、国語全体の約14%の配当、第3学年では年間10時間の配当で約9%の配当となっております。

最後、書写の指導、配慮事項ですが、文字を正しく整え、早く書くことができるようにするとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てるように配慮すること。それから、硬筆及び毛筆を使用する書写の指導は各学年で行い、毛筆を使用する書写の指導は硬筆による書写の能力の基礎を培うようにすることとされております。

以上です。

坂本委員 わかりました。

教育長 よろしいでしょうか。

坂本委員 結構です。

教育長 ほかにございますか。

平野委員 ただいま田中委員長から、書写の指導では書写の能力を学習や生活に役

立てる態度を育てるといってお答えがありました。確かに、私たちの日常生活を見ておられます、毛筆、硬筆によらず、手紙であったり、送り状であったり、またのし袋の表書きであったり、美しく、丁寧な文字を書かなければならない、そういう場面が多くあります。そこで、日常生活におけるそのような場面を教材として多く取り扱っている教科書は、どちらのものなのでしょうか、教えていただけますか。

田中委員長 　　いずれの教科書も、手紙を書くといった日常生活でよく使われる場面については、取り上げておりますが、日常の書式として巻末の資料のページ数が最も多い教科書は、光村出版が59、次いで東京書籍が45となっております。

　　以上です。

教 育 長 　　よろしいでしょうか。ほかにございますか。

　　書写についていかがですか。よろしいですか。

　　それでは、続きまして、社会、地理的分野についてでございますが、いかがでございましょうか。

徳 永 委 員 　　先ほどの御説明の中で、日本の諸地域で扱う中核となる事象を取り上げる事項の特色が今回あるという説明があったかと思うのですけれども、その中核となる事象とは、どういうもので、中でも何か特色のある教科書というのがありますか。

井 尻 委 員 長 　　中学校の学習指導要領では、日本の諸地域の学習について地域の特色ある事象や事柄を中核として、それを他の事象と有機的に関連づけて学ぶということが示されております。中核となる事象とは地域の特色を端的に示す事象や事柄のことを言います。現行の学習指導要領では、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境汚染、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結びつき、この7つのことを指しています。帝国書院だけが他の発行者と取り扱いが違っていることが特長です。具体的には、北海道地方、ここでは、他の発行者は自然環境で取り扱っておりますが、帝国書院だけは歴史的背景と取り扱っております。また、関東地方では、他の発行者が他地域との結びつきということで取り扱っているのに対しまして、帝国書院では人口や都市・村落ということで扱っております。さらに、九州地方では他の発行者は、環境問題や環境保全を取り扱っているのに対しまして、帝国書院だけが自然環境ということで取り扱っています。このように、帝国書院に特色が見られます。

　　以上です。

徳永委員 ありがとうございます。

教育長 よろしいでしょうか。ほかの委員の方いかがでしょうか。

渡辺委員 内容に身近な地域の調査とあったと思うのですが、東京都の地域が、一番身近ですが、取り上げている発行者はどこかございますか。

井尻委員長 帝国書院が東京都の練馬区を取り上げております。なお、他の3つの発行者については、静岡県と愛知県を取り上げております。

以上です。

教育長 よろしいですか。

渡辺委員 はい。

教育長 ほかにございますか。地理的分野よろしいですか。

では、進めさせていただきます。続きまして、地図についてでございますが、いかがでございましょうか。何か御質問等ございますか。

平野委員 現在本市では地理的分野の教科書と同じ発行の地図帳を使っておりますけれども、実際に先生方としては、何か利点を感じていらっしゃる場所がありましたら、教えていただけますか。

井尻委員長 主に地理的分野の資料で地図帳を使用しておりますが、それは地理的分野の教科書と同じ発行者のほうが表記の仕方がおおむね関連性がありますので扱いやすいところでは言えると思います。

また、2社ともに完成された地図帳ではありますが、配色であるとか書き方については、それぞれ独自性もあり若干異なりますので、教科書と同じほうが見えやすさ、そういったものもあろうかと思えます。

以上です。

教育長 よろしいですか。

平野委員 はい。ありがとうございます。

教育長 ほかにございますか。よろしいですか。

坂本委員 地図の特色ということで、先ほど帝国書院の場合は、鳥瞰図を多用しているという御説明あったと思うのですが、何かそういう狙いがあるのでしょうか。

井尻委員長 地理的分野の学習では、今回世界と日本の諸地域、ここは重点を置かれていると申し上げましたけれども、大観させるということが非常に重要になっております。そこで、帝国書院の大観させる学習というのを重視して編集しております。そのため地域の姿をより具体的に捉えられるように、この鳥瞰図を多用しております。特に日本とかかわりの深い、例えば中国とかヨーロッパとか、あるいは北アメリカの3つの箇所については、大き

な大鳥瞰図を使いまして、大まかな地形、土地利用などの様子をしっかりとつかめるようにしています。また、そこに文化や産業のイラスト等を示して、地域の特長をより視覚的に捉える、そんな工夫をしております。

以上です。

教 育 長 よろしいでしょうか。

坂 本 委 員 はい。

教 育 長 ほかにございますか、地図については。どうですか。よろしいですか。では、続きまして、社会、歴史的分野についてでございます。歴史的分野について、何か御質問等ございますか。

徳 永 委 員 先ほど学習指導要領の改訂がということの説明が最初にありましてわかりやすかったのですけれども、その中で近現代の一層の重視ということを1つ挙げておられました。従来の「近現代の日本と世界」という一つの項目からこれまで事前に拝見していた中でいうと、近現代の日本、世界という一つの項目から、「近代の日本と世界」と「現代の日本と世界」の2つの項目に構成し直されました。この2つの項目の扱いについて特徴的なことがあったら教えてください。

井 尻 委 員 長 近代の日本と世界、現代の日本と世界の2つに分けたことによって、こういった学習、近現代の学習一層重視して、現代社会についての理解が一層深まるように配慮されています。こちらの東京都の調査研究報告書、これによりますと、近代の日本の世界、時代区分のページ数、これで一番多く割かれているのが、教育出版の41.3%になります。現代の日本と世界の時代区分別のページ数の割合が一番多く割かれているのが東京書籍で、14.1%割かれています。

以上です。

教 育 長 よろしいですか。どうぞ。

徳 永 委 員 今の東京書籍の「近代の日本と世界」の時代区分別のページ数の割合は、いかがでしょうか。

井 尻 委 員 長 東京書籍の「近代の日本と世界」の時代区分ページ数、38.3%になります。

教 育 長 よろしいですか。

徳 永 委 員 はい、ありがとうございます。

教 育 長 ほかにございますか。

渡 辺 委 員 2つほど教えていただければと思います。まず、今回の歴史教科書において、文化遺産を取り上げている箇所が最も多いところと、あと歴史上の

人物を取り上げている箇所が多いところ、それはどうでしょうか。教えてください。

井尻委員長 どちらも育鵬社になります。先ほどの東京都の資料によりますと、文化遺産は、育鵬社802カ所になります。歴史上の人物は、722カ所で最も多いというふうになっております。

以上です。

教 育 長 よろしいですか。

渡 辺 委 員 はい。

教 育 長 ほかにございますか。歴史的分野についてよろしいでしょうか。

よろしいですか。では、次に進めさせていただきます。次に、社会、公民的分野について、いかがでございましょうか。

坂 本 委 員 公民の授業という、ディベートとかそういったものの言語活動が盛んに行われる教科だと思いのですけれども、そういったことについて特長的に扱っている教科書などがありましたら、教えてもらえますか。

井尻委員長 公民的分野はそういった活動が行われている教科です。特に第3学年で学習しました地理的分野、歴史的分野、この基礎の上に学習が展開されるということで、つまり中学校の社会科の最終段階に位置づいております。そこで公民的分野全体としまして、思考、判断したことを具体的、論理的に説明させるなど言語活動がとても重要になります。先ほどの東京都の資料によりますと、言語活動については、全ての発行者が取り上げてはいるのですけれども、中でも東京書籍ですが、東京書籍のものが195カ所で、一番多くなっております。ちなみに一番少ないのは、自由社の10カ所となります。

以上でございます。

教 育 長 よろしいでしょうか。

坂 本 委 員 はい。

渡 辺 委 員 オリンピックとかパラリンピックについて、どういった感じで扱っておられるのか。特長的なところがあれば、教えてください。

井尻委員長 オリンピック・パラリンピックについては、各発行者、写真とかコラムを使って、工夫して取り上げております。ただ、項目として一番多く取り上げているところと言いますと、帝国書院と育鵬社が4つの項目で、そして東京書籍、これが3つの項目で取り上げられています。

以上でございます。

教 育 長 ほかにございますか。

いかがでしょうか。よろしいですか。

渡辺委員 はい。

教育長 それでは、次に進めさせていただきます。数学についてでございます。いかがでしょうか。

平野委員 数学の教科書の調査を進める中で、本市の子どもたちの実態を踏まえて、例題や練習問題の配列が最も適していると思われる教科書はどちらの出版社ですか。

井尻委員長 本市の子どもたちの実態を考えますと、例題とか練習問題、これがどのように配置されているかという視点はとても重要で、調査委員会でも話題になりました。教科用図書選定会議報告書のほうにも記させていただきましたけれども、調査委員会からは東京書籍の「新編 新しい数学」、こちらが基本的な問題、少し難しい問題、発展的な問題など、問題の質、こういったところに工夫しており、その量も適切であるという意見が多く出されました。

以上です。

平野委員 ありがとうございました。

教育長 いかがでございましょうか。数学についてでございますが、御質問ございませんか。よろしいですか。

徳永委員 今、使われているものは教育出版ですか。

教育長 そうですね。

徳永委員 はい。

教育長 それでは、ないようでございますので、次に理科についていかがでございましょうか。

徳永委員 先ほどの御説明の中で探求という言葉が盛んに何回も使っておられて、とても理科の学習において大事な言葉なのだろうというふうに思うのですが、具体的なことで言うと、実験やら観察ということになるかと思いますが、その実験や観察を取り上げているところが多い出版社はどちらになりますか。

青木委員長 東京都教育委員会のほうから教科書調査研究資料が出ておりますが、そちらのほうを見ますと、1年から3年生までの合計で見ていきますと、大日本図書が185カ所と一番多くなっております。続いて、東京書籍が162カ所となっております。

以上です。

教育長 よろしいですか。

徳永委員 ありがとうございます。

教育長 ほかにございますか。

加藤委員 理科では、私たちが考えているような理科のほかに先ほど道德と関連された生命尊重や自然環境の保全についての学習も大切であるということを知りましたが、そのことについて特長的なことがあれば、教えていただけますか。

青木委員長 生命尊重や自然環境保全について一番多く取り上げられている教科書は、東京書籍です。全部で35カ所あります。野外観察などを通して、主体的に自然とかかわる中で、身につけていく工夫がされております。その次は、啓林館で30カ所となっております。

以上です。

加藤委員 はい、ありがとうございます。

教育長 ほかにいかがですか。理科についてはよろしいでしょうか。御質問等ございませんか。

それでは、次に音楽についてでございます。一般と器楽と分けて、まず一般から伺います。音楽の一般について御質問等ございますか。

渡辺委員 音楽は、自らの学習だけではなくて、国とか、我が国の、伝統音楽とか、郷土の伝統音楽なんかも理解を深めるということも大切だなというふうに思っているのです。その上で何か取り上げているというか、そんな数が多いところがあれば、教えてください。

小出委員長 曲数と、それから資料として取り上げているものと両方とも合わせますと、教育出版が193曲、それから教育芸術社が167件というふうな数になっています。

以上です。

教育長 よろしいですか。

渡辺委員 ありがとうございます。

教育長 ほかにいかがですか。音楽、一般でございますけれども、よろしいでしょうか。

それでは、音楽、器楽合奏についていかがでございますでしょうか。御質問等ございませんか。

徳永委員 福生の中学校は、三校とも吹奏楽が東京都レベルの大変な実力を備えておりますけれども、そればかりではなくて、みんなの器楽合奏という生徒全員ができるということを考えるときに、学校に備えられている楽器の数というのは、制約があるかと思うのですけれども、必ずしも教科書に載

っていることができるかという、そうでもないのではないかという心配が1つあります。そのようなときに対応する工夫はされているとか、あるいは曲数が多くてその中から選べるというふうな柔軟性がある教科書のほうが対応しやすいかと思うのですが、そこで質問なのですけれども、それぞれの教科書について演奏曲数が何曲あるか教えてください。

小出委員長 教育出版のほうで69曲ございまして、それから教育芸術社が56曲という数字になっています。

以上です。

教 育 長 よろしいでしょうか。

徳 永 委 員 はい。ありがとうございます。

教 育 長 ほかにございますか。器楽合奏についてでございますが、ございませんか。

徳 永 委 員 はい。

教 育 長 では、次に進めさせていただきます。

続きまして、美術についてでございますが、美術についていかがでございますでしょうか。

いかがですか。よろしいですか。

渡 辺 委 員 すみません、それぞれ教科書で取り扱っている数について何か特長的なところあれば、教えてください。

上 田 委 員 長 光村図書出版が599点と一番多く、その次に日本文教出版、開隆堂出版の順になっております。

渡 辺 委 員 ありがとうございます。

教 育 長 よろしいですか。ほかにございますか。美術でございます。

いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、次に保健体育についていかがでございますか。

坂 本 委 員 私たちの日常生活を考えると、いたるところで事故が起きる可能性がたくさんあると思うのです。自然災害も含む、交通事故も含めてなのですけれども、そういったようなもの、傷害の防止ですが、体育の授業もそうだと思うのですけれども、そういったような内容を含めて、何か特長的に扱っている教科書のことがあったら教えてほしいのですけれども。

上 田 委 員 長 東京都の教育委員会が作成した平成28年から31年度の使用教科書調査研究資料によりますと、保健分野の障害の防止の単元について、ページ数を一番多く割いているというのは、東京書籍の30ページ。次いで、学研の28ページとなっております。

以上です。

教 育 長 よろしいですか。

坂 本 委 員 はい。

教 育 長 ほかにございますでしょうか。保健体育については、よろしいでしょうか。

それでは、技術・家庭、技術分野についていかがでございましょう。

平 野 委 員 技術につきましても、この範囲がものづくり、エネルギー、生物育成、情報と非常に幅が広いですが、そのいずれもが、実際の職業生活に結びついております。このことから、技術の学習を通して健全な勤労観、職業観を育てることが大切であると思っております。そこで、勤労観や職業観に関する事項を取り上げている箇所が多い教科書はどこでしょうか。

岩 田 委 員 長 勤労観や職業観に関する事項は、いずれの教科書も取り上げておりますが、最も多く取り上げているのは東京書籍で31カ所、次いで開隆堂出版の20カ所となっております。

以上です。

平 野 委 員 ありがとうございます。

教 育 長 よろしいですか。ほかにございますか。

坂 本 委 員 技術の授業というところ、いろいろな道具を使いますから、けがというのは避けられない部分もあるかもしれません。そういったものも、起きないようにするのが大事だと思うのですが、安全に関する注意事項をきちんと書いてある教科書というのがありますか。

岩 田 委 員 長 安全に関する事項を最も多く取り上げている教科書は、東京書籍で38カ所です。教科書の冒頭に安全な作業のための注意事項がまとめられているほか、適宜安全マーク、衛生マーク等で注意を喚起しております。

以上です。

教 育 長 よろしいでしょうか。

ほかにございますか。技術分野ですけれども、よろしいでしょうか。

では、続きまして、家庭分野についていかがでございましょうか。

徳 永 委 員 教えてください。家庭科ですから、座学というのか、理論的な学習も大事かと思うのですが、畳の上の水練であって、実践的な、体験的な学習も必要になるかと思っております。学校訪問に行ったときでも、保護者の方が来て、料理や裁縫を手伝っているという場面を見て、子どもたちも生き生きとしてやっているところこれまでも何回も見てきました。そういう意味で、実生活に直接役立つ授業を積極的にやっていただきたいと思うので

すけれども、製作、調理などの実習について積極的に扱っている教科書がありましたら、教えてください。

岩田委員長 製作、調理などの実習や観察に関する事項を最も多く取り扱っているのは東京書籍で66カ所、次いで開隆堂出版で60カ所となっております。

以上です。

徳永委員 ありがとうございます。

教育長 よろしいでしょうか。ほかにごありますか。家庭分野についてでございますが。

ないですか。よろしいですか。

では、続きまして、最後でございますが、英語についてでございます。英語について何か御質問等ございましたら、お願いをいたします。

坂本委員 英語の授業というのは、英語を直接使いこなせるようになるというのが大事だとは思うのですけれども、やっぱり世界的な視野も、英語の時間を通して育ててほしいと思うのです。そうすると、例えば世界の人々との相互理解であるとか、また平和だとか、安全のために活躍している人だとか、そういったような方を紹介しているような教材があるといいと思うのですけれども、これについては特長的な教科書というものはあるでしょうか。

小出委員長 自国文化や異文化、いわゆる現代的な課題や多様な物の見方、考え方を扱った教材ということで考えますと、最も多いのは東京書籍で35件あります。次いで、三省堂で27件という数字になります。その中でも三省堂については、学年の段階が上がるにつれて題材が徐々に社会平和、あるいは人権といった高度な社会問題に移行していく構成となっております。調査委員会としては、それを評価しておりました。

以上です。

教育長 よろしいですか。ほかにごありますか。

平野委員 英語の学習におきましては、聞く、話す、読む、書くの4技能の調和のとれた力を育成することは大切だと思います。私も、学生時代通して長年英語を学んでまいりましたが、依然として日本人はなかなか英語が話すことができない、また話そうとしないという風土が残っているように思います。そこで、今の教科書の中で最も話す活動を多く取り入れた教科書を教えていただけますか。

小出委員長 話す活動を重点的に行うために作成されている教材が最も多いのは、三省堂です。次いで、光村図書出版になります。東京都教育委員の先ほど出ています、平成28年から31年度使用教科書調査研究資料によりますと、三

省堂は38、光村図書出版33の教材が話す活動に関する教材となっています。  
以上でございます。

教 育 長 よろしいですか。ほかにもございますか。

渡 辺 委 員 英語の学習で単語力というのでしょうか、欠かすことのできない大切な要素だと思っています。たしか学習指導要領では、単語数は1,200程度だ  
と思います。実際の教科書では、新語数というのは何語ぐらいになっている  
のでしょうか。

小出委員長 最も新出語数の多い教科書は、三省堂です。1,513です。これは、今お  
っしゃられたように、学習指導要領には記されている1,200語程度を300語  
程度上回っていることとなります。また、最も新出語数の少ない教科書に  
比べて約200語以上多くなっているということとなります。

以上です。

教 育 長 よろしいですか。

英語については、ほかにもいかがでございますか。御質問等は、ございま  
せんか。

よろしいでしょうか。

それでは、各調査委員長の質疑を終わります。これから討論に入りたい  
と思いますが、休憩等の必要はいかがでございますか。

続けます。よろしいですか。

よろしいですか、皆さん。

それでは、続けて討論に入りたいと思います。教科ごとに各委員から御  
意見をいただきます。

福生市立中学校平成28年度使用教科用図書について、それぞれ各教科ご  
とに採択をしていきたいと思えます。よろしいでしょうか。

それでは、1教科ずつ進めさせていただきますので、御意見等お願いい  
たします。

まず初めに、国語について御意見をお伺いいたします。委員各位、何か  
意見ございますでしょうか。

坂 本 委 員 先ほど国語の教科書の言語活動について質問したのですけれども、それ  
によると、それぞれの教科書に適切に言語活動は設定されているというこ  
とですので、余りここでは差はつかないかなと思いました。そうすると、  
次には、国語の授業で学習したら、その国語の授業の中だけで終わるの  
ではなくて、やっぱり日常生活の中で生かしていかなければいけないの  
ではないかと思うのです。そうしますと、日常生活にも使えるような題材とい

いますか、そういったものを多く捉えているものはどちらかと見ましたけれども、光村と東京書籍が新聞の社説であるとか、手紙のお礼状の書き方といったものも出ていたので、わかりやすく取り扱われていて、この2社あたりいいのではないかなと思いました。

以上です。

教 育 長      ほかにかがでございましょうか。

加 藤 委 員      先ほどの坂本委員の御質問にもあったのですけれども、国語力というのが、全てのほかの科目に、教科を支える力なのだと思います。先ほど質問させていただいたのですけれども、説明的な文章を読み解く力というのは、各教科の学習に必要なばかりではなくて、毎日の生活にも不可欠な力だと思っています。読み解く力を身につけるためには、なるべくたくさんの文章に当たる必要があるのではないかなと思っているので、私は説明的な文章の作品数が最も多いと言われている光村図書出版がいいのではないかなと思います。いかがでしょうか。

教 育 長      ほかにかが委員の方いかがでございますか。

平 野 委 員      私も光村図書出版を推薦したいと思います。先ほど読書のことでお伺いいたしましたけれども、国語の学習を通して書に親しみ、生涯に読書を楽しむことは、国語教育の目的の一つではないかなと思っております。光村図書出版は、読書生活を豊かに、また読書に親しむとして各学年段階に合った読書案内ページを設けております。教科書を見ましたら、一部分薄い黄色の背景色を使っているところがあって、そのようにすぐに開けるといいう工夫がされているのではないかなと思いました。また、ここでは読書への興味づけをするコラムや、ジャンルごとの推薦図書の一覧なども掲載していて自然に読書に親しめるようになっているのではないかなと思います。このことから、光村図書出版は、生徒がみずから本に手を伸ばして読書好きになってくれるのではないかなと感じました。

教 育 長      ほかにかがでございましょうか。

徳 永 委 員      光村図書出版に賛成。

教 育 長      光村図書出版ですか。光村図書出版を推すという声が大変多いように思いますが、よろしいですか。

それでは、委員の皆様の御意見を総合いたしまして、国語については、光村図書出版を採択することによろしゅうございますか。

(「異議なし」の声あり)

教 育 長      異議なしと認めます。

次に、書写について御意見をお伺いいたします。

書写についていかがですか。

坂本委員 先ほどの書写の指導時間を伺いましたら、1、2年生は、140分の20、3年生は105分の10と非常に少ないということがわかりましたし、そうすると、書写の時間というのは、国語の時間のほうを押さえて、とっているということは、当然のことながら、国語の授業と書写の中身というのは、一貫性を持っていたほうがいいのではないかと考えられると思うので、それだったら、今国語が光村図書出版ということになったのならば、書写も光村図書出版でいいのではないかと思います。

以上です。

教育長 ほかの委員の方は、いかがでございますか。

平野委員 私も光村図書出版を推薦したいと思っております。書写の学習を通して何のために文字を正しく整えて、美しく書くのかという原点に立ち返ってみましたら、やはりその文字を読む人への丁寧な気持ちが伝わってくるのではないかなと思います。福生の子どもたちには、読む人の立場に立って文字を書ける人になってほしいなと思っております。小学校のときから学習してきた毛筆はもちろんのこと、中学校ではそれをベースにして学校生活、日常生活において使われる書式もしっかりと学んでほしいと思います。光村図書出版の中には高校入試のための願書の書き方が載っておりました。また、縦書き、横書きの手紙の書き方など、巻末の日常書式がたくさん資料として載っていることもとてもいいことではないかなと思います。いかがでしょうか。

教育長 いかがですか、光村図書出版という声が。よろしいでしょうか。

それでは、委員の皆様の御意見を頂戴いたしまして、書写については、光村図書出版を推す声が多いようですので、光村図書出版を採択することによろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

教育長 よろしいでしょうか。では、書写については、そのように決定をいたします。

次に、社会、地理的分野について御意見を伺いたいと存じます。

徳永委員 結論から申し上げますと、現在も使っている帝国書院でよろしいかと思っております。その特色を継続して活かしていくということでもよろしくお願ひします。先ほどの説明でも、特に新しい指導要領の改訂に関する対応の上でも極めて特徴があるということもよく理解できました。私は、帝国書院を

推します。

教 育 長 帝国書院という声ですが、ほかにいかがでございますか。

加 藤 委 員 今も帝国書院を使っているのですが、そのまま帝国書院がいいのではないかと思います。世界や日本の諸地域の単元の冒頭に、中学生になじみのある有名な観光地とかを、その地域の特色を示す大きな写真で資料として示してありましたし、中学生がこれから学習する地域のイメージを中学生にイメージを持たせる工夫がされているのではないかと思います。教科書を自宅に持ち帰るということを想定して、できるだけ軽い紙を使うという、そういう家庭学習に対する配慮も帝国書院の教科書にはあるのだなというのを感じました。

以上です。

教 育 長 ほかにございますか。

御意見等よろしいですか。

それでは、地理的分野につきまして御意見をいただいておりますが、社会、地理的分野については、帝国書院を推す声が多いように存じますが、帝国書院ということで採択よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

教 育 長 異議なしと認めます。社会、地理的分野については、帝国書院を採択することといたします。

次に、地図について御意見を伺いたいと存じます。いかがでございますでしょうか。

坂 本 委 員 地図帳、開いてみてですけれども、いろいろ想像できるところがあってもおもしろいとは思っています。ですから、子どもたちには地図帳を開きながら、いろいろな日本だとか世界の地域に関心を持って、さらにその地図を見ながら具体的にどんな特色あるかというイメージを膨らませてもらえるような地図帳がいいのではないかと思います。そういう意味では、特色として鳥瞰図を多用して地形的な特色であるとか、産業であるとか、そういったようなことでわかりやすい内容を盛り込んであるような工夫がされている帝国書院のものはいいのではないかと思います。地図を見るという、ワンポイントがあって、有効だとは思っています。

教 育 長 ほかに御意見いかがでしょうか。

平 野 委 員 私も帝国書院の地図帳を推薦したいと思います。地図や統計などの各種の資料から必要な情報を読み集めて、それを自分のものにする、そういった力を育てることがとても大切だと思うのですけれども、この帝国書院の

地図帳は資料も豊富ですし、とても見やすくわかりやすいように思います。また、小学校でもこの帝国書院の地図帳を使っておりますし、私たちもとてもなじみのある地図帳です。また、地理的分野の教科書も帝国書院ということで、やはり先ほど御質問させていただきました教科書との関連性を考えましても、帝国書院がいいのではないのかと思いました。

教 育 長 いかがでございましょうか。帝国書院を推す声が多いようでございますが、ほかに御意見よろしいですか。

それでは、皆様の御意見を総合して地図については、帝国書院ということで採択をしてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

教 育 長 よろしいですか。では、そのようにさせていただきます。地図については、帝国書院ということでございます。

では、続きまして、社会、歴史的分野について御意見を伺いたいと存じます。

歴史的分野について御意見お願いいたします。

徳 永 委 員 さっきの私からの質問や渡辺委員からの質問で、一つ思ったことがあります。小学校の社会科で学ぶ歴史というのが、やっぱり人物だとか文化財中心に学んできたかと思うのですが、中学校に入ったらやっぱり学習指導要領にあるとおり、アジアや世界の中での位置づけだとか、あるいは時代の流れ、あるいはその関わりあいでの日本という位置づけを大きく捉えていくということが必要かなと聞きながら思いました。事前に教科書それぞれ目を通して、自分なりの結論を持っていたのですけれども、近現代の学習にページを多く割いているということが先ほどの御回答でわかりましたけれども、そういう意味で東京書籍か教育出版と私は思いました。

以上です。

教 育 長 ほかにいかがでございましょうか。

渡 辺 委 員 私、日ごろから子どもたちには自信と誇りを持ってもらって、グローバル化したこの社会を生き抜いていってほしいと願っておるところです。中学校の学習指導要領の総則の中にも、伝統文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重すること、国際社会に生きる日本人としての自覚を身につけることに留意することと明記されているかと思います。その我が国の伝統と文化を尊重する、そしてそれらを育んできた我が国と郷土を愛すること、非常に大切なことだと思っております。これは、学校全体が教育活動で取り組むということではありますが、

とりわけこの社会の歴史の授業でしっかりと教えていってほしいなと思っております。

先ほど御質問したところ、その今回の歴史教科書の中で現代に伝わる文化遺産を取り上げている箇所が最も多いのが育鵬社ということでした。また、我が国が今日あるのは、この先人のたゆまぬ努力の積み重ねであるというふうに思っており、育鵬社の教科書は、最も多くの歴史上の人物を取り上げていたのです。非常に私は関心を持ったところでございます。

以上でございます。

教 育 長 よろしいですか。

ほかにございますか。

坂 本 委 員 先ほど、歴史の学習は、我が国の歴史の大きな流れを捉えるというふうな御説明がありました。授業の中でも一つ一つの時代を細かく学習していくだけだと、大きな流れになるとわかりにくいと思うのです。記憶は薄れていってしまいます。そういったことを考えると、教科書のつくりというものも、大きな流れというものを中心に記載されているものがないと思いません。東京書籍の教科書は各章の頭の冒頭のところで時代、その扱う内容についてを全体のイメージができるような部分、導入とした点からその時代についての中味がずっと次に細かく書いてあって、最後に、その章のまとめとして、どんな内容が書いてあったか、それについて確認するようなコーナーが設けてあるということで、初めと終わりがきちんと押さえられて、学習した内容が中学生にもわかりやすく残るのではないかなと思えました。そういう意味で、この東京書籍のつくりというのは、いいものだなと思いましたが、もう一つ、見開きで見たときに、左下のほうにスケールがあったのです。小さいものなのですけれども、今全体の中でどの部分を扱っているのかという位置がわかるような時間軸です。ああいうような小技の部分も結構いいかなと思って、今、私は東京書籍がいいなと思っています。

教 育 長 ほかにいかがですか。

加 藤 委 員 私も同じく東京書籍がいいかなと思っています。東京書籍の教科書は、見開き2ページで授業1時間分の構成になっているようです。読み取りの視点を示すキャラクターの吹き出しとか興味や関心を引き込むような導入の資料、それから学習の狙いを示す学習課題の提示、そして本文がわかりやすいと思います。それを補完する資料もありまして、学習内容をまとめる確認という流れで構成されています。中学生にとってそういう流れは、

学習を進めやすく、なおかつ学習内容の定着が図りやすいように工夫されているのだなというふうに思いました。

以上です。

教 育 長 ほかにございますか。

渡 辺 委 員 先ほど坂本委員のおっしゃった東京書籍について、その小技というのを感じたところなのです。非常にいいなという感じがします。

教 育 長 いかがでございましょうか。

御意見ございませんか。よろしいですか。

それでは、委員各位からそれぞれ御意見、討論をいただいておりますが、これ以上御意見等はなしということによろしいでしょうか。

委員の皆様の御意見を総合いたしまして、歴史的分野については、東京書籍を推す声が多いように思うのですが、いかがでしょうか。

渡 辺 委 員 異議なし。

教 育 長 異議なしで。よろしいですか。

それでは、東京書籍を採択することによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

教 育 長 社会、歴史的分野については、東京書籍を採択することといたします。

続きまして、社会、公民的分野について御意見を伺います。いかがでございましょうか。

坂 本 委 員 先ほどの御説明で公民的分野では、対立と合意、効率と公正ですか、これをキーワードに政治や経済等に関する理解を深めるというお話がありましたけれども、それを見ると、どこの教科書もほぼ同じであるということのようですので、私はずっと言っていますけれども、やっぱりこれからは言語活動です。言語活動に最も内容として割いているものは、東京書籍が一番多かったと御報告ありましたので、東京書籍でいいのではないかなと思います。

教 育 長 ほかにございますか。

加 藤 委 員 公民の教科書をすべて目を通させていただいて、育鵬社の教科書は、「私たちを取り巻く課題」と題して東日本大震災や拉致問題、それから領土問題などについて、巻頭の2ページを、見開き2ページを利用して明示しています。世界で活躍する日本人として、ソチオリンピックで金メダルをとったときに、君が代が流れて日本代表として誇らしい気持ちになったといった男子フィギュアスケートの羽生結弦選手を取り上げています。そういったことで、現代の日本の課題を正しく生徒が認識して、自分が暮ら

している日本という国を誇りに思って、自分のためだけではなくて、ほかの人のためにも努力する気持ちと行動力を身につけることが、公民を学ぶ意義なのではないかなと改めて考えたところです。

教 育 長 ほかにございますか。

平 野 委 員 私は、東京書籍を推薦いたします。日本の特色ある文化や伝統に関する見解や、伝統文化の継承や保存に取り組む中学生の姿を取り上げております。先日、福生もお祭りがありましたけれども、福生の子どもたちもおはやお神楽に積極的に取り組んでいる姿が重なって見えました。また、我が国の領土及び国土によるめぐる問題についても、本文、コラム、写真等で本当に丁寧に取り上げておりますし、その現状についても子どもたちは正しく理解し、解決に向けての意識を高めるよう工夫しているのではないかと思います。また、歴史的分野の教科書と同様に、見開き2ページで1時間の構成になっておりますので、興味関心を喚起する導入資料であるとか、学習課題の提示、わかりやすい本文、そしてまた補完する豊富な資料、学習内容をまとめる確認という流れで構造化されているのが中学生にとって学習を進めやすく、学習の内容の定着が図れる工夫がここでも見られるのではないかと思います。そこで、私は東京書籍を推薦したいと思います。

教 育 長 ほかにかがでございましょうか。

渡 辺 委 員 私もやはり東京書籍を推薦したいなと思っております。先ほども御質問させていただきましたけれども、この2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会に向けて文化、スポーツに親しみながら、そして国際社会に貢献できる日本人を育成することは大変重要なことだと思っております。東京書籍は、そういった意味でもオリンピック・パラリンピックについても、多くの扱いがありました。そして、先ほども平野委員がおっしゃったように、見開きで見やすく東京書籍を推薦したいと思うところです。

教 育 長 いかでございましょうか。ほかにございませんか。

よろしいでしょうか。

徳永委員、よろしいですか。

徳 永 委 員 東京書籍に、賛成です。

教 育 長 皆様の御意見、大方、東京書籍という声が出ていて、今徳永委員からもそういう声が上がりましたけれども、東京書籍ということでまとめさせていただいてよろしいでしょうか。

それでは、社会、公民的分野については、東京書籍を採択することによ

ろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

教 育 長 異議なしと認めます。

よって、そのように東京書籍を採択することといたします。

次に、数学について御意見を伺います。いかがでございましょうか。

平 野 委 員 私たちは、これまでも国や東京都が実施している学力調査の結果について報告を受けておりましたが、本市の子どもたちの数学の学力の教育については、学力が十分に身につけていない生徒の層に対して、基礎・基本と言われる部分を重視し、繰り返して学習していくことが必要だと考えています。

先ほど数学の調査委員会委員長からの報告もありましたけれども、本市の子どもたちの実態を踏まえると、基本的な問題、少し難しい問題、発展的な問題など問題の質を工夫しており、量も適切であったり、さらに生徒の理解がより深められるように既習事項を再度取り上げてスパイラルな学習を行えるようにしている、そういう特長を持っている東京書籍がいいのではないかと考えております。

教 育 長 ほかにいかがでございましょうか。

よろしいですか。委員の皆様、いかがでございましょうか。よろしいですか。御意見ございませぬか。

渡 辺 委 員 結構です。

教 育 長 結構ですという声が出ておりますので、それでは総合いたしまして、数学については、東京書籍を選択するという御異議ございませぬか。

(「異議なし」の声あり)

教 育 長 異議なしと認めます。

よって、数学については、東京書籍を採択することといたします。

次に、理科について御意見お伺いいたします。理科は、いかがでございましょうか。

徳 永 委 員 理科離れという言葉聞くようになって久しいのですけれども、そういったことが本市においても残念ながら、東京都の学力調査の結果にあらわれているのかなと思います。でも、子どもたちは不思議やら、びっくりすることにはとっても関心が高くて、そういうことから先ほど実験観察、探求的な教材はどれですかという質問をさせていただいたわけですけれども、そういうことを通して子どもたちはみずから規則性を発見する、発見できるという点で考えると、それを多く取り上げているという御回答からは、

東京書籍か大日本図書かなというのが私の結論です。

教 育 長 ほかにございますか。

加 藤 委 員 私は、東京書籍がいいのではないかなと思います。先ほど青木委員長から、道徳と関連させた生命尊重や自然環境の保全について御回答いただきました。そこで、東京書籍の教科書は、ほかの教科との関連についても記載があつて、横断的に考えられていると感じました。家庭学習や個に応じた指導への配慮も見られますので、基礎学力の定着が図られている教科書ではないかと思います。そこで、理科も東京書籍がよいのではないかと思ひます。

以上です。

教 育 長 いかがですか。

渡 辺 委 員 私も、東京書籍がいいかなと思つたところです。全体的に科学のおもしろさというのを全面に出して、そして生徒の学ぶ意欲を高めているというのか、そんな意図がわかる教科書でした。そこで、中でも家庭でもできる観察実験を紹介しているのがあつたのです。「どこでも科学」、非常に学ぶ意欲を高める上でも大切な視点だと思ひました。

以上です。

教 育 長 ほかにかがででしょうか。ございせんか。

皆様の御意見、東京書籍を推す声が多いように思ひますが、理科については、東京書籍採択することによろしいでしょうか。御異議ありせんか。

(「異議なし」の声あり)

教 育 長 異議なしと認めます。

よつて、理科については、東京書籍を採択することといたします。

次に、音楽、一般について御意見を伺ひたいと存じます。いかがでございましょうか。

渡 辺 委 員 私は、今の現行に引き続きまして、教育出版を推薦したいと思ひます。教育出版の教科書は、さまざまな音楽活動を通して音とか音楽への興味関心が高められる、そんなような配慮がなされていたかなと思ひました。特に防災や自然災害とかオリンピックについての視点を当てていまして、横断的な学習が進められるのではないかなと思ひました。そして、これは特にまた国歌についてこの2社を比較したのですけれども、教育出版は2ページにわたつて取り上げられているのです。国歌については先ほどと同様なのですけれども、正しい認識を持つてもらつて、尊重する態度を育てるべきだなと思ひております。ぜひとも現行に引き続き教育出版を推薦

したいと思っているところです。

以上です。

教 育 長 音楽、いかがでございましょうか。御意見ございませんか。

坂 本 委 員 よろしいです。

教 育 長 御意見なしということによろしいですか。それでは、ただいま意見ございましたけれども、音楽、一般については、教育出版を採択することで御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

教 育 長 異議なしと認めます。音楽、一般については、教育出版を採択することといたします。

次に、音楽、器楽合奏について御意見をお伺いいたします。いかがでしょうか。

徳 永 委 員 器楽合奏のほうも教育出版がよろしいかと思えます。今の音楽、一般との関連性もあると思えますし、それから先ほど調査委員会からの御報告の中でも豊かな表現活動を行わせるという視点で考えても、生徒にとって親しみやすい教材が多いのは教育出版、あるいは2社ですけれども、2社の教科書を比べると教育出版のほうが曲の数も多く、生徒の実態各学校の楽器の実態、そういったような部分をあわせて授業者が教材を選びやすい教科書だというふうに判断しました。教育出版を推します。

教 育 長 ほかにいかがですか。

よろしいですか。

渡 辺 委 員 はい。

教 育 長 教育出版をとということでございますが、ほかに御意見がない。よろしいということですね。

それでは、音楽、器楽合奏については、教育出版を採択することで御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

教 育 長 異議なしと認めます。

よって、音楽、器楽合奏については、教育出版を採択することといたします。

続きまして、美術について御意見をお伺いいたします。美術についていかがでございましょうか。

加 藤 委 員 私は、光村図書出版がよいと思えます。特に巻末の学習を支える資料が特長的だと思ひまして、表現と鑑賞の双方の授業で役に立つのではないか

と思いました。生徒が作品をつくるときには、発想や構想、どんなものをつくろうというときに、ヒントにもなるのではないかと思います。皆さん思われたのではないかと思いますのですが、光村図書出版は、印刷がとにかくきれいで作品が映えて見えると思います。ですので、光村図書出版がいいと思います。

渡辺委員 私も、光村図書出版に賛成をいたすところです。先ほど上田委員長に質問をして、回答の中で作品数が一番多いということでした。また今加藤委員からもお話があるように、それは鑑賞の観点としても重要なことだなど思っております。ほかにも、その学習内容が明確になるように目標というものが記載されておりまして、その学習効果を高める工夫がされているなと感じたところでした。

以上です。

教育長 ほかにいかがでございましょうか。美術。光村図書出版という声でございいますが、よろしいですか。

それでは、美術につきましては、光村図書出版を採択することで御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長 異議なしと認めます。それでは、美術については、光村図書出版を採択することといたします。

次に、保健体育について御意見を伺います。いかがでございましょうか。

坂本委員 首都直下地震の発生の確率がどんどん上がってきているということを考えますと、いつどこで何が起きるかわからないという状況だと思います。日中でしたら、普通の家庭では大人は職場に行っていて、まちを守るといったら、やっぱり中学生が地域を守る担い手という期待は非常に高まっていると思うのです。中学生が、いざというときに応急手当の仕方をきちんと知っているということは、とても重要なことだと思います。応急手当だけでなく、AEDの使い方も日常的にも大いに活用される技術だと思いますので、そういったことを多く扱っている東京書籍が多いがいいのではないかなと思います。

教育長 ほかにございますか。いかがでしょう。

平野委員 私も東京書籍を推したいと思います。まず、ページをめくりますと、スポーツの力とかスポーツを支える人とか大きな写真の資料が8ページにわたって載っておりまして、これは生徒たちがすごく興味関心を持って見てくれるのではないかなと感じました。また、福生市スポーツ推進計画の中

に「するスポーツ」、「見るスポーツ」、「支えるスポーツ」ということで推進をうたっておりますけれども、この東京書籍の教科書の中でも一生懸命に頑張ることの大切さとか、またスポーツは行うだけではなく、見る人、支える人などさまざまな人がかかわっていることなどを、オリンピック・パラリンピックのアスリートを掲載して、そのスポーツのすばらしさを取り上げています。また、見開き2ページが1時間の授業構成となっていて、これは東京書籍の特長的な構成だと思うのですが、これがきょうの学習ということで、やってみよう、本文、考えてみよう、生かそうという、その学習の流れになっているのが、中学生が基本的基礎的な知識を確実に習得でき、またそれを活用する力が身につくように工夫されているのではないかなと思ひまして、私も東京書籍を推薦したいと思ひます。

教 育 長 ほかにかがでございましょうか。

渡 辺 委 員 大丈夫です。

教 育 長 よろしいでしょうか。それでは、東京書籍が御意見をいただいておりますが、保健体育については東京書籍を採択することで御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

教 育 長 異議なしと認めます。

よって、保健体育については、東京書籍を採択することといたします。

次に、技術・家庭について、技術分野から御意見を伺います。いかがでしょうか。

平 野 委 員 先ほども質問させていただきましたけれども、技術の学習を通して健全な勤労観、職業観を育てることがやはり大切だと考えております。日々の生活の中で工夫をし、創造する能力と実践的な態度を育てる中で人のために役に立つ意義や喜びを感じる、そのような授業を実践していただけたらいいなと思っております。そのような点からも、最も多く勤労観、職業観に関する事項を取り上げている東京書籍が本市にふさわしいのではないかなと考えました。いかがでしょうか。

教 育 長 ほかにございますか。

坂 本 委 員 私も東京書籍がいいと思ひます。先ほどの質問でも安全な授業を行うための配慮といったものが多く取り上げられているのは東京書籍だという御回答がありましたので、安全が学校の中で一番大事だということです。さらに、東京書籍の場合、巻末に、防災手帳がついているのです。ですから、こういったものも子どもたちにとってはかなり役に立つものになっている

のではないかと思います。東京書籍でいいのではないかと思います。

教 育 長 ほかにいかがでございますか。よろしいですか。

それでは、技術・家庭、技術分野については、東京書籍を推す声が出ておりますので、東京書籍を採択することよろしいでしょうか。御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

教 育 長 それでは、技術分野については、東京書籍を採択することといたします。引き続きまして、技術・家庭、家庭分野について御意見を伺います。

徳 永 委 員 先ほどの質問の繰り返しになってしまいます。要点だけ繰り返しますと、要するに実体験が日常に生かされる。そういった事項が最も多く取り上げられている書籍は、東京書籍のものが先ほどの調査報告の中で具体的な言葉として、「手ばかり」、「目ばかり」というふうな報告がありました。東京書籍を推します。

教 育 長 ほかにございますか。

加 藤 委 員 徳永委員と同じように、私も手ばかり、目ばかりという点で非常にいいと思ひまして、私も東京書籍がいいのではないかと思います。東京書籍は、ほかにも私たちが日々の生活を送る上で避けて通ることのできない環境問題について最も多く取り上げているのではないかと思います。ごみの分別とか、エコバッグの利用とか衣服のリフォームなどいずれも持続可能な社会をつくる上で、欠かすことのできない視点だと思います。東京書籍は、家庭科の授業においてこのような視点を大切に育ててくれる教科書であるのではないかと思います。

以上です。

教 育 長 ほかにいかがでしょうか。家庭分野、東京書籍を推す声が多いようですが、いかがですか。よろしいですか。

それでは、技術・家庭、家庭分野については、東京書籍を採択することで御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

教 育 長 異議なしと認めます。技術・家庭、家庭分野については、東京書籍を採択することといたします。

続いて、英語について御意見をお伺いいたします。御意見ございましたら、お願いいたします。

平 野 委 員 私は、三省堂を推したいと思っております。先ほどもお話ししましたけれども、英語の力が聞く、話す、読む、書くの4つの機能から成り立って

おりまして、この三省堂の教科書では4つの技能の活動を重点的に行えるように設定されていて、その教材数が最も多い教科書となっております。また、この4技能のうちの3技能、聞く、話す、読むについても、教材数が一番多くなっておりました。福生市は、市内に横田基地を擁して外国人居住者も多い国際的な市です。そこで多くの人たちとコミュニケーションを図るツールの一つとして、国際共通語である英語教育の推進に今力を入れているところです。その目標の一つに、4技能のバランスのとれた英語力を身につけることを挙げております。そこで、4技能を伸ばす多くの活動が取り上げられている三省堂教科書が本市に最も適しているのではないかと考えました。

教 育 長      ほかに御意見ございますか。

坂本委員。

坂 本 委 員      先ほど述べましたけれども、英語の授業で大事なことは、やっぱり我が国や外国の文化、生活など多様なものを受け入れられるような見方、考え方を身につけさせることが大事だと思うのです。様々な価値をしっかりと理解し、それを尊重できるという人権感覚が欲しいと思います。それがグローバル化の基本になると思っています。先ほど伺った中では東京書籍が1番、次いで三省堂でということになっていますので、この2社のうちから選ばれるのだったら、私はいいのではないかなと思います。

以上です。

教 育 長      ほかにございますでしょうか。

渡 辺 委 員      私も三省堂を推薦したいと思います。英語学習においては、重要な要素は、先ほどお聞きしましたけれども、やはり単語です。単語をどのくらい知っているかというのが非常に重要になってくるということを思っております。学習指導要領では、先ほど1,200程度の語句ということになっておりまして、それを300も上回っているという話でした。最も多い教科書が三省堂だということでございまして、中学校の段階では新出語というのは、いずれも基礎的なものとなっていますので、数がそれだけ多いということで表現の幅が広がっていくのではないかというふうに思ったところです。本市が目指すその英語力の一つである、自国のよさとか福生のよさ、それを英語で発信する力を身につけることができるのではないかなというふうに思いました。その点から、私は三省堂を推薦したいというふうに思っています。

以上です。

教 育 長 ほかの委員の方々、いかがでございますか。

徳 永 委 員 三省堂に賛成です。

教 育 長 三省堂を推す声が多いようでございますが、よろしいですか。

それでは、英語については、三省堂を採択することで御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

教 育 長 異議なしといたします。英語については、三省堂を採択することといたします。

これで福生市立中学校平成28年度使用教科用図書の討論が終わりました。教育総務課長より、採択結果について確認をいただきます。

教育総務課長 それでは、ただいま御討論いただきました結果について確認をさせていただきます。

国語、光村図書出版。書写、光村図書出版。社会（地理的分野）、帝国書院。社会（歴史的分野）、東京書籍。社会（公民的分野）、東京書籍。地図、帝国書院。数学、東京書籍。理科、東京書籍。音楽（一般）、教育出版。音楽（器楽合奏）、教育出版。美術、光村図書出版。保健体育、東京書籍。技術・家庭（技術分野）、東京書籍。技術・家庭（家庭分野）、東京書籍。英語、三省堂。

以上でございます。

教 育 長 お諮りいたします。

福生市立中学校平成28年度使用教科用図書につきましては、以上のとおり採択したいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

教 育 長 異議なしと認めます。

よって、日程第2、議案第56号、福生市立中学校平成28年度使用教科用図書の採択については、以上のとおり決定をいたします。

次に、日程第3、議案第57号、福生市立小学校特別支援学級平成28年度使用教科用図書の採択についてを議題といたします。

主幹より内容の説明をお願いいたします。

主 幹 それでは、議案第57号、福生市立小学校特別支援学級平成28年度使用教科用図書の採択について御説明申し上げます。

学校教育法第34条第1項に小学校においては、文部科学省の検定を経た教科用図書、または文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を使用しなければならないと定められております。このことに関して、特別支援学

級で使用する教科用図書については、同法の附則第9条におきまして、第34条第1項に規定する教科用図書以外の教科用図書を使用することができると定められております。そこで、教科用図書選定協議会報告書（様式1）にございます図書が採択の対象となる教科用図書である、いわゆる一般図書でございます。

別紙になりますが、福生市立小学校平成28年度使用特別支援学級教科用図書一覧は、この報告書を一覧にしたものでございます。ここで、一般図書について御説明をさせていただきます。

国語は、4社から9冊でございます。書写は、3社から12冊でございます。社会は、3社から6冊でございます。算数は、4社から9冊でございます。理科は、4社から7冊でございます。生活は、3社から4冊でございます。家庭は、3社から4冊でございます。保健は、4社から7冊でございます。この特別支援学級の一般図書につきましては、いわゆる見本本というものはございませんが、今現在児童が使用しているものを挙げますと、例えば「さんすうだいすき」、そして、「ゆっくり学ぶ国語・算数」、以上のようなものを、今年度も一般図書として今取り上げさせているところでございます。

以上でございますが、特別支援学級におきましては、児童一人一人の個性に対応する必要があることから、別紙にございます全ての教科用図書について御配慮賜りますよう、お願い申し上げます。

説明は以上でございます。

教 育 長 内容説明は終わりました。

これより質疑に入ります。なお、質疑につきましては、一括して行うことといたしますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

教 育 長 よろしいでしょうか。

それでは、一括して質疑をお受けいたします。いかがでございましょうか。ございませんか。

渡 辺 委 員 はい。

教 育 長 質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

討論に入りたいと思います。討論につきましても、一括していたしますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

教 育 長 それでは、そのようにさせていただきます。

何かございますでしょうか。御意見等ございませんか。

それでは、これをもって討論を終わります。

お諮りいたします。福生市立小学校特別支援学級平成28年度使用教科用図書につきましては、別紙のとおり採択したいと存じますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

教 育 長 御異議なしと認めます。

よって、日程第3、議案第57号、福生市立小学校特別支援学級平成28年度使用教科用図書の採択については、別紙のとおり決定をいたします。

次に、日程第4、議案第58号、福生市立中学校特別支援学級平成28年度使用教科用図書の採択についてを議題といたします。

主幹より内容説明をお願いします。

主 幹 それでは、議案第58号、福生市立中学校特別支援学級平成28年度使用教科用図書の採択について御説明申し上げます。

学校教育法第34条第1項に準じて、中学校におきましても文部科学省の検定を経た教科用図書、または文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を使用しなければならないと定められております。このことに関しまして、小学校の特別支援学級と同様に、中学校の特別支援学級で使用する教科用図書につきましても、同法の附則第9条におきまして、第34条第1項に規定する教科用図書以外の教科用図書を使用することができると定められております。そこで、教科用図書選定協議会報告書(様式1)にございます図書が採択の対象となる教科用図書である一般図書でございます。

別紙になりますが、福生市立中学校平成28年度使用特別支援学級教科用図書一覧は、この報告書を一覧にしたものでございます。ここで一般図書について御説明申し上げます。

書写は、1社から1冊でございます。社会は、2社から2冊でございます。理科は、1社から1冊でございます。技術・家庭の技術は、1社から1冊でございます。英語は、1社から1冊でございます。

以上でございます。小学校同様、中学校生徒一人一人の個性に対応する必要があることから、別紙にございます全ての教科用図書について御配慮賜りますようお願い申し上げます。

御説明は以上でございます。

教 育 長 内容説明は終わりました。

これより質疑に入ります。先ほどと同じように一括して行うことといた

しますが、何かございますか。よろしいですか。

徳永委員 結構です。

教育長 それでは、質疑を終わります。

これより討論に入ります。討論についても一括して行うことといたします。いかがでございましょうか。特に御意見等ございませんか。よろしいですか。

これをもって討論を終わります。

お諮りをいたします。福生市立中学校特別支援学級平成28年度使用教科用図書つきましては、別紙のとおり採択をいたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長 異議なしと認めます。

よって、日程第4、議案第58号、福生市立中学校特別支援学級平成28年度使用教科用図書の採択については、別紙のとおり決定をいたします。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして平成27年第5回福生市教育委員会臨時会を終了いたします。ありがとうございました。

午後0時16分 閉会